



(参考仮訳)

プレスリリース No. 12/71
即時解禁
2012年3月7日

国際通貨基金 (IMF)
米国・ワシントン DC

朱民 IMF 副専務理事、IMF・サモア合同会議において 太平洋島嶼国の課題に関する講演を行うことに

国際通貨基金 (IMF) の朱民副専務理事は、2012年3月23日にサモアの首都アピアを訪問し、同国政府との共催で開かれるハイレベル会議で、太平洋島嶼国における「包括的な成長の促進と耐性の構築」についての講演を行う。このイベントには、太平洋島嶼国 10 カ国の主要政策担当官をはじめ、域内の開発パートナー、国際機関、学術界、民間部門の代表が一堂に会する。

朱民副専務理事は、「今回の太平洋島嶼国への訪問は、私が IMF 副専務理事に就任して以来初めてのもので、非常に大きな期待をかけている。太平洋島嶼国は、相違点こそ多いものの、経済の規模、外生ショックに対する脆弱性、経済多角化の必要性、政策の柔軟性向上をめぐる共通の課題にも直面している。この会議は、知識や域内での経験を共有し、現下の世界環境で太平洋島嶼国が直面している様々な課題に協力して取り組む、まさにうってつけの機会となろう」と語った。

今回の会議の焦点は、太平洋島嶼国がいかにして外生ショックに対する耐性を強化し、域内の成長基盤を拡大していくかに向けられ、特に、各国固有の開発課題と地域的開発課題で民間部門がどのような役割を果たせるかが強調される。

詳細は以下のウェブサイトまで。

<http://www.imf.org/external/np/seminars/eng/2012/PIC/index.htm>